

コウノトリ保全セミナー

あなたの街にも コウノトリが!?

— 一見えてきたコウノトリ保全事業の課題と展望 —

会場：東京都美術館 講堂

東京都台東区上野公園 8-36



2018年11月25日(日)

13時～16時30分 (受付開始12時30分)

定員…200名 / 対象…中学生以上

参加費…無料

【主催】コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル (IPPM-OWS)

【共催】公益財団法人東京動物園協会、兵庫県立コウノトリの郷公園、

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科

【後援】公益社団法人日本動物園水族館協会

*このセミナーの開催経費の一部は、公益信託サントリー世界愛鳥基金の助成を受けています。

IPPM-OWS は、2015 年 11 月に開催した「コウノトリ保全フォーラム」で採択した「東京宣言 2015」(<https://www.ippm-ows.jp/wp/data/uploads/page/388/tokyo2015.pdf>)を柱として、様々な活動を行ってきました。飼育繁殖計画や放鳥計画を立て、施設間での個体や有精卵移動により飼育個体群(生息域外個体群)と野外個体群(生息域内個体群)の遺伝的多様性の維持・向上に努めてきたほか、新たな繁殖地における地元自治体等への支援や見守り活動、保全活動の普及啓発などにも取り組んできました。

このような活動の結果、コウノトリの野外個体数は 140 羽を超えるまでになり、2017 年までに、47 すべての都道府県への飛来が確認されました。また、兵庫県以外に新たに 3 か所の繁殖地(徳島県鳴門市、島根県雲南市、京都府京丹後市)が形成され、コウノトリを題材にした地域の自然環境再生に向けた活動が各地に拡がりつつあります。また、生息域外では、新たなペアを形成するとともに、約 200 羽を安定した個体群として維持しています。

一方、野外個体数の増加や繁殖地の拡大、活動の拡がりとともに新たな課題も見えてきています。

今回のセミナーでは、コウノトリ保全事業の最新の状況について紹介します。ぜひ、ご参加ください。

【講演内容】

講演 「コウノトリ保全事業の近年の成果」

佐川 志朗(兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授、兵庫県立コウノトリの郷公園エコ研究部長、IPPM-OWS 域内保全作業部会長)

講演 「徳島県鳴門市での繁殖について」

柴折 史昭(コウノトリ定着推進連絡協議会(徳島県))

講演 「島根県雲南市での繁殖について」

高橋 誠二(雲南市教育委員会 文化財課)

講演 「京都府京丹後市での繁殖について」

小北 景子(京丹後市教育委員会 文化財保護課)

講演 「野田市のコウノトリ放鳥事業について」

岡 重之(野田市 みどりと水のまちづくり課)

講演 「関東でひろがる コウノトリの輪～埼玉県鴻巣市・自治体フォーラムの取組～」

岡 安優子(鴻巣市 環境課)

講演 「域外保全の重要性～飼育施設での取り組みと課題～」

中島 亜美(多摩動物公園、(公社)日本動物園水族館協会生物多様性委員会ニホンコウノトリ計画管理者)

講演 「野外コウノトリの救護及び死亡の要因」

松本 令以(兵庫県立コウノトリの郷公園、IPPM-OWS 事務局長)

講演 「これまでの取り組みの総括と今後の展望」

江崎 保男(兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科長・教授、兵庫県立コウノトリの郷公園統括研究部長、IPPM-OWS 副代表)

【応募方法】 E メールで以下のとおり、お申し込みください。

2018stork@tokyo-zoo.net 宛に、件名を「コウノトリ」とし、本文に参加希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢(学年)、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。

お申し込みの際は、@tokyo-zoo.net からの E メールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。

【締め切り】

2018 年 11 月 20 日(火)

※10 月 25 日(木)から募集を開始し、先着順とします。

締め切り前に定員に達した場合は、多摩動物公園のホームページ(東京ズーネット <http://www.tokyo-zoo.net/zoo/tama/>)でお知らせします。

お申し込み後、3-4 日以内に受付番号を返信します。連絡がない場合は、電話にてお問い合わせください。

※お申し込みの際ご提供いただいた個人情報は、当該イベントに関するご連絡のみに使用します。また、データの保管や削除など、個人情報については厳重な管理をいたします。